

平成20年度 市民による南口広場整備ワークショップ (コネクターキューブ壁面の図柄検討)

南口広場には「コネクターキューブ」という構造物があります。この中には、エレベーターや段室などが整備され、全面ガラス張りの立方体として整備されます。

実はこのコネクターキューブ、外側のガラス面に「新潟をイメージする図柄」を表現する設計となっています。当初の予定では、図柄の選定は設計者に委ねることにしていましたが、これまで経緯を踏まえ、「この部分も市民参加で検討すべきではないか」という声上がり、急速、コネクターキューブの図柄デザインを議論する検討会（＝ワークショップ）を開催しました。

既に工事が進んでいる関係上、様々な制約条件がありましたが、3回のワークショップや市民意見募集（アンケート・ネット投票）で多くの市民の意見を踏まえ、新潟をイメージする写真が選ばれました。



第1回ワークショップ (H20.7.20)

⇒コネクターキューブの図柄に対する市民から注文を出し合う

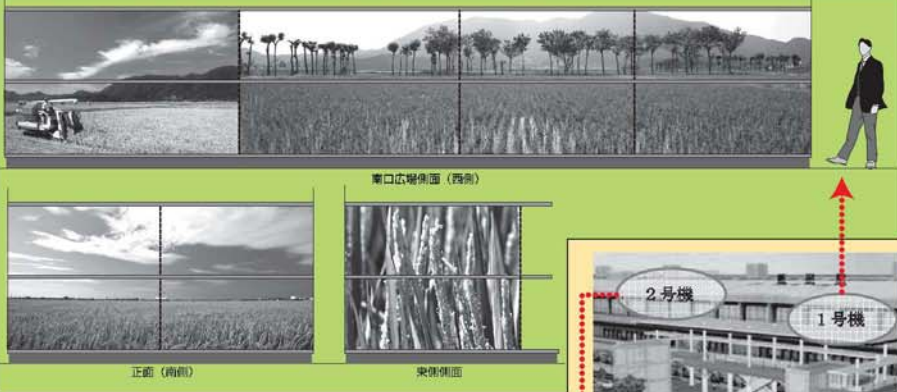
第2回ワークショップ (H20.8.30)

⇒複数ある図柄デザイン案を3案程度に絞り込む。
⇒デザイン案に対する意見をデザイナーに伝える。

第3回ワークショップ (H20.10.13)

⇒図柄デザインのテーマ・使用する写真を決定する。

コネクターキューブ1号-最終プラン「テーマ：新潟駅南の風景/田園」



コネクターキューブ2号-最終プラン「テーマ：新潟駅南の風景/水辺」



東良のコネクターキューブ(1号機)は、田園、西側(2号機)は、水辺というテーマでの図柄となりました。

